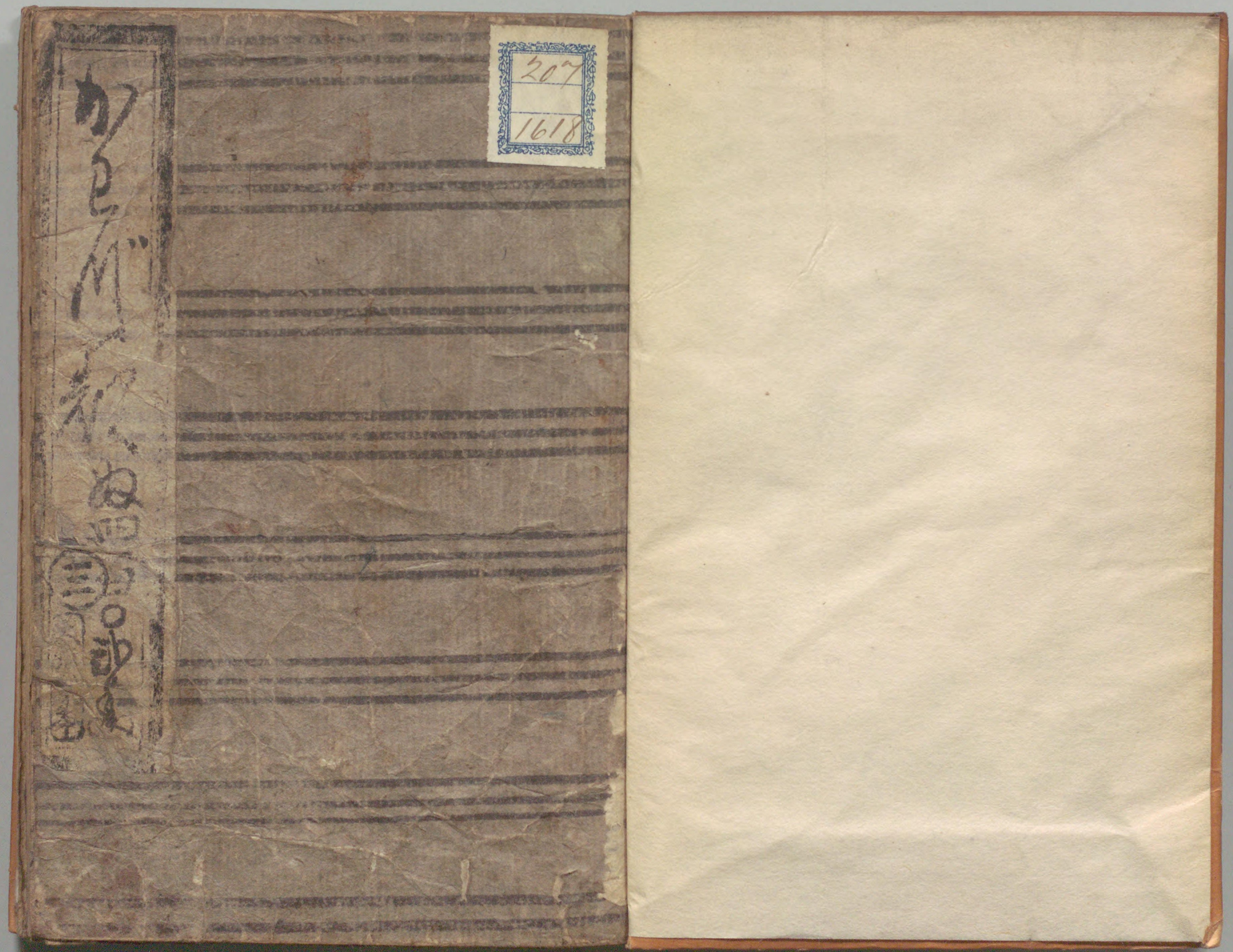
蛙歌春土手節 全

207
1618

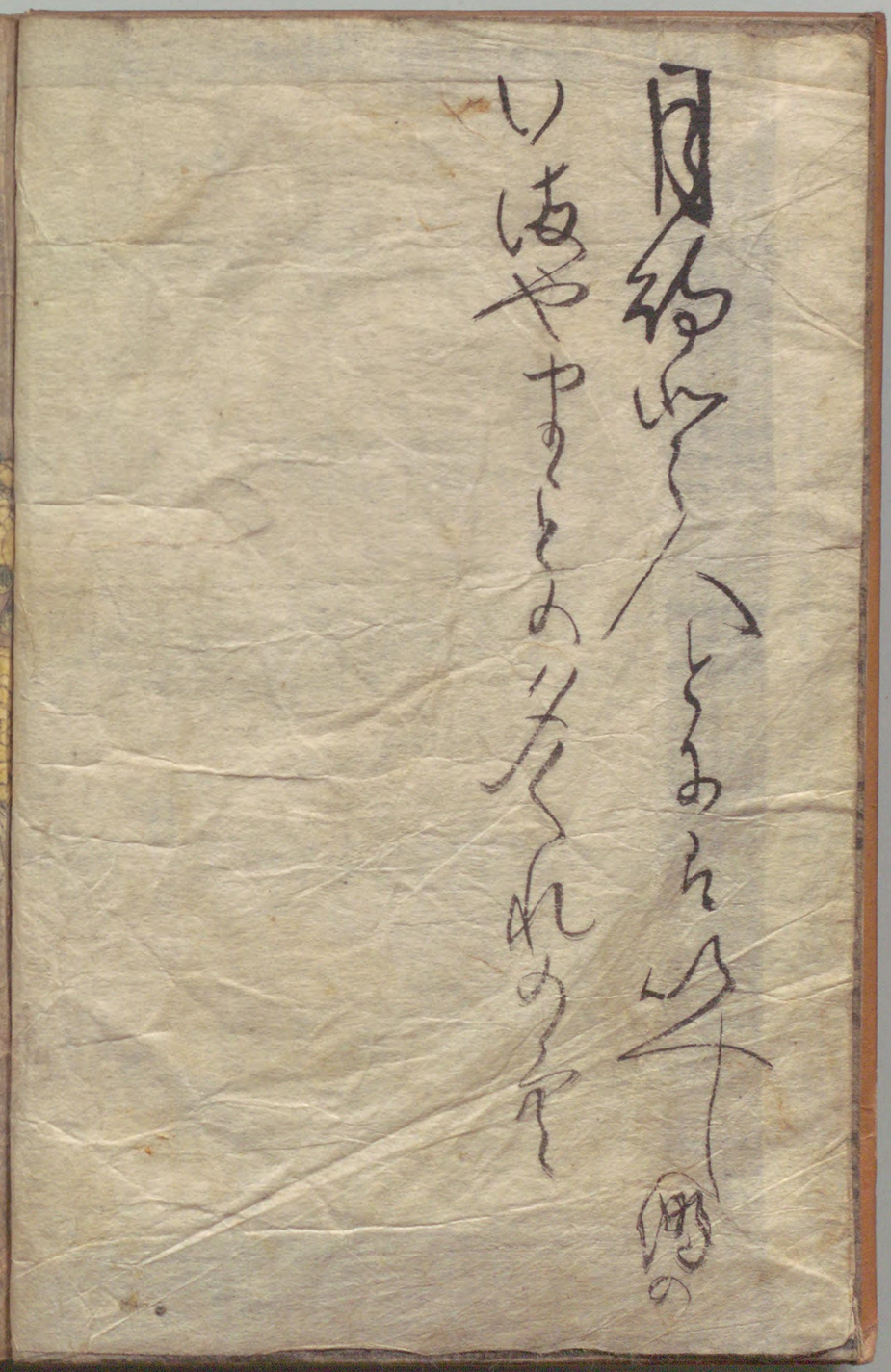
国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用



国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用



国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

六五まゐ家
かしくの小傳

蛙歌春土手節

前編

柳亭種彦作
歌川國貞画

丙戌春
伊藤屋板

水滸傳に虎を擊て殺に事二條あり。背と勇とにて趣を別つ。忠臣藏に自殺二人あり。判官に法なり。勘平に窘てなり。本藏に義に強く力弥鎗をもりて卒る。是等に上手のうへなるまゝ。學ぶとも及ぶ事に此草伐に作く。久しき兄弟乃名告あり事二箇條にはは偶然にして筆拍子。予且て心ぼうぞ。愛度かしくれ小傳と書をもつて幾度か悔まども更に甲斐なし。是を再飜へさんにも才と共に日も短くなりや。彙出しの魁を書房乃怠ぐ。冬至乃頃梅とさんく。樣木に附て後案ぞれば。いづれ兄やら妹やら。分くいひえね。類向の拙さ。證據もなくていひ出に。お腕が詞に實事にして。證據を見て後物がたりしに思ひ誤ちにて。所事に變まども。作者に用意乃至らぬ。ところと顯に汗しくあれ記に。

文政九年丙戌孟春

柳亭種彦

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

泥沼鷺平次

朝寿に
[illegible]
[illegible]
女郎花

山吹や
清まげて渡る
[illegible]流し

丁児
蝶吉

關路
屋
陸
三が
女房
小園

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

○相州鎌倉
佐助稲荷の段

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

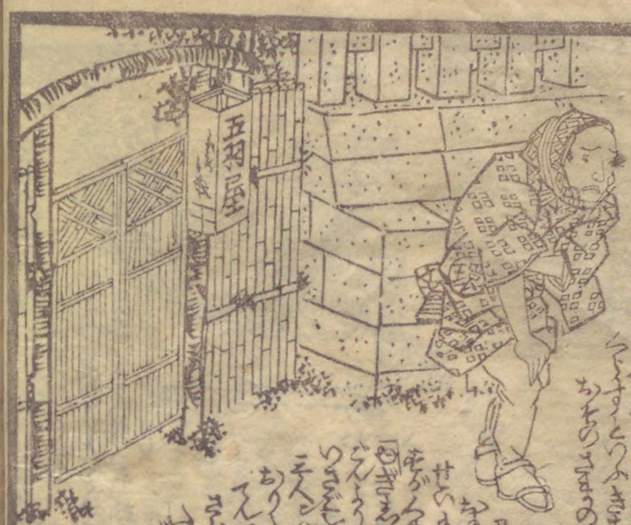
ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用



國貞画 種彦作

筆耕道友

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

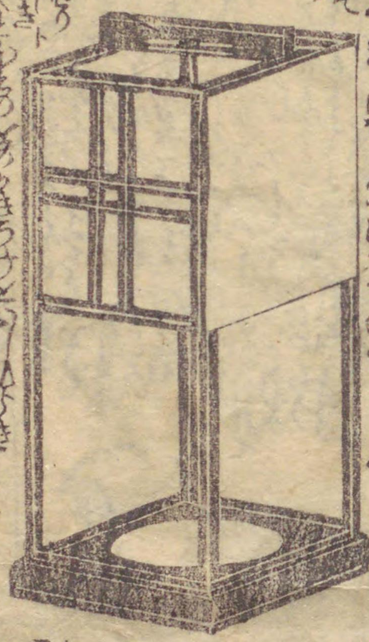
ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用



国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

つづき　ゆれるたるさかやきこへ
こちもとこおりひのやうにまく
しのこのかおそれのそでをかれ
つきさぞーそでーらーてさ仰
ゆぐりーろうとあり人べさろうそ
そでめのくうそうげんひきうそ
いちあーいでーてくうん八
りうそもくもをそそこと
あげのきけりーでんさく
ゆうそこうち　まこひ
可とがおいのかくまの
くうそれはさんさくが
かさそそをとに
ろうんうくきりさげーん
そ六三でーさくーかう
だりでハがそんがめくまの
やうすをそろくうまうて
きうさきうっとこそるさの
あにのそうれハりつぞや
さ手けりのうりゆそくーを
ぬのくあのぬすく人「忍名
三尸そのごきへそるうの
あれこのくへかゆきう
ちれどうびんみて

陸

丹

左より　ゆあてへそれてある我が
なのひくごさくちめり
そもいらずそのまさらと
うえがつるへかろふ
せへおれがその
日れまのまへ
その日あ
あゆも
せ多の
それ
ちやうう
けーん
仮わ
りとう
さあ
ふ

ナハ

ゆけしてべうまうの
ゆへくつまゆれさけを
のまさてゆうちに
まろそのまうり
りろくさう
ぐうううのこゆの
りうちらくを
まちちの息さ
うきろうけへ
くりんハがくうの
ちうれのそまるふ
さうゆハうけれど
それをするべきてぞれつれ
うのゆうみ来にこのこーへハ
ゆごんとりのぞまをうりんして
おうーうまのりのを
うくうちひまうぐーみ
くりんハがりうをまちつま
そるぐこれをぬすを
ろうくそれうくさす
こころくうんハがうちやうを
ゆれてでそぐうちつけー

春

仮

ゆとところやくうまり

ゆれにあんに
ちうこのうのく
そうけりどてこれら
ろうゆそひまなうて
ちうれのん
せのーそくく
をつくりがよ
このーまちびん
すようそうをさ

羅
ぬす
まそる
くん八が

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

207
1618

文政九丙戌初春

日光供奉御役人附

横本 全一冊

續々膝栗毛 近刻 十返舍一九作

花車七変化荘 柳亭種彦作 全六冊 歌川國貞画

蛙歌春圭節 種彦作 全六冊 國貞画

聞勇八幡

歌川國貞画

柳亭種彦作

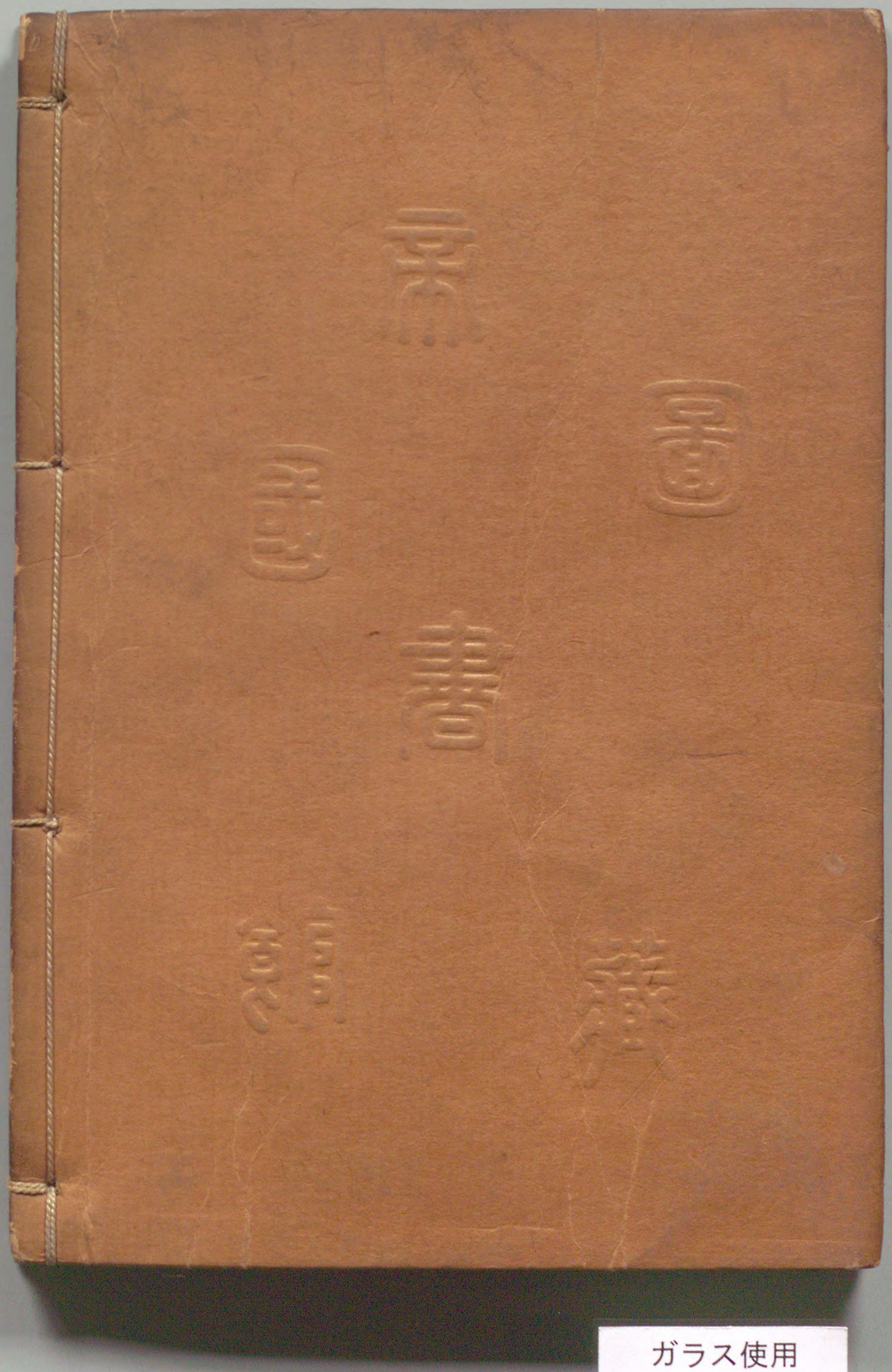
備書 二三四五の巻 道友 六の巻 晋米斎

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用

国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用



国立国会図書館　蛙歌春土手節 6巻 207-1618

ガラス使用